

SSH事業 PS「課題探究」 匹見実地研修

2年生文系生徒対象のPS（プロジェクトスタディ）「課題探究」の一環として、9月22日（土）に、匹見実地研修を行いました。今年度は、地域（匹見）を素材とし、「温泉（木材）・わさび・小麦・スポーツを通じた町おこし」を各テーマとして、探究学習活動を行っています。このうち、匹見をテーマとしている各班より希望者を募り、計26名が本研修に参加しました。

研修では、木の家 ひきみ森の宝産直市場、匹見峡温泉「やすらぎの湯」、わさびバイオセンターと町内各施設を訪問しました。特に「信ヶ谷」と呼ばれるわさび田を見学し、わさび栽培の現場を肌で感じる事ができたのは、非常に有意義でした。

この研修は、テーマに対する理解を深めるとともに、自分の目や耳を使って学ぶ機会になったのではないかと思います。わさび農家の方、市の職員の方からレクチャーを受けることができ、今後研究をすすめるうえで有益な学びとなりました。事前に準備した質問だけでなく、お話をうかがいながら生じた疑問を投げかける積極的な姿が見られました。来年度以降は、こうしたフィールドワークによる学びについて、さらに充実させていきたいと考えています。

匹見わさび生産者組合の宮川様、齊藤様、三浦様には、お忙しいなか、興味深い講義をしていただくとともに、質問にもご丁寧にお答えいただきました。また、研修準備の段階から、益田市匹見総合支所地域振興課 井上様、田中様には大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

12月に予定されている研究発表会に向けて、研究を深めていきたいと考えています。

